



平成 25 年 10 月 10 日

各 位

上場会社名 株式会社 魚 喜  
代 表 者 代表取締役社長 有吉 喜文  
(コード番号 2683)  
問合せ先責任者 経理部長 堀 弘之  
電話番号 0466-45-9282

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 4 月 12 日に公表した平成 26 年 2 月期第 2 四半期（累計）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正

平成 26 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 25 年 3 月 1 日～平成 25 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,015	71	61	21	8.22
今回修正予想 (B)	6,810	8	2	△26	△10.57
増減額 (B-A)	△204	△62	△58	△47	
増減率 (%)	△2.9	△88.5	△96.7	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 25 年 2 月期第 2 四半期)	6,851	△3	△6	△54	△21.24

#### 2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきまして、景気は緩やかな回復傾向を見せましたが、食の安心・安全に対する関心は一層高まるとともに低価格志向・節約志向が依然として続いており、水産小売業界はたいへん厳しい状況が続きました。その影響により、当社グループの売上高は当初予想を下回る見通しです。

また、利益面におきましても、乱獲による水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて、世界的規模の需要増により魚介類の仕入価格は依然として上昇傾向にあります。この消費性向と仕入環境により当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。かかる状況の下、収益改善を図るべく、既存店の強化と新規出店及び不採算店の撤退、包装材料コストの縮減を中心とした仕入効率化による原価率の低減並びに要員見直し等による人件費削減及び諸経費の削減を積極的に実施いたしました結果、営業利益及び経常利益は黒字を計上する見通しですが、営業利益及び経常利益、四半期純利益ともに当初予想を下回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、水産小売業界において上記のように経営環境を見通し難い要素が存在することから、業績が見通せる状況になり次第お知らせいたします。

※平成 25 年 9 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上